

NTT東日本東北病院

地域医療連携だより



開院30年記念特別講演（市民講座）

H21.7.15

オーロラ「宇宙を感じ神秘の世界へ」

星空の写真家 中垣哲也氏



オーロラストーム

札幌を拠点としてニュージーランド、カナダ、アラスカなどで活躍中の中垣哲也氏を迎え開院30年記念講演が開催されました。極北の自然を通した「奇跡とも言える地球のすばらしさ」オーロラは地球の磁場と大気、それと太陽との微妙なバランスのもとで存在している—素晴らしいオーロラの映像が次々と写し出され、病院フロアには入院、外来患者さんを始め250名を超える方々が神秘の世界に導かれました。患者さん、参加者からは「すばらしい、感動しました」と大好評でした。ポスターの掲示にご協力いただきました近隣の先生、町内会、スーパーの皆様ありがとうございました。

整形外科に鈴木恒彦先生着任



9月1日より整形外科が常勤体制に。鈴木恒彦先生は大阪府立急性期・総合医療センター副院長兼障害者医療・リハビリテーションセンター長を務められたリハビリテーション領域で本邦を代表する先生です。



病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった
温かい良質な医療の提供に努めます。

～目次～

- 開院30年記念特別講演（市民講座）……P.1
- 呼吸器内科、糖尿病外来1日コース……P.2.3
- 皮膚・排泄ケア認定看護師
病院学術講演会……P.4
- 病院機能評価、トピックス、紹介票……P.5.6

呼吸器内科

呼吸器内科部長 高橋 識 至



高橋呼吸器内科部長

【スタッフ】

呼吸器内科部長	高 橋 識 至
内科主任医長	安 達 哲 也
内科医長	田 中 章 子



安達医師

【診療内容】

COPD(慢性閉塞性肺疾患)は当院呼吸器科で最も力を入れて診ている疾患の一つです。COPDは日本における慢性呼吸不全の原因の半数を占めているにもかかわらず、その早期診断はきわめて困難なことが知られています。

一般内科通院中のハイリスク患者(喫煙者または慢性の呼吸器症状)に積極的診断介入(スパイロメーター)をすることにより、効率的なCOPD診断が可能となり、さらに地域連携がうまく機能すれば、当院周辺地域だけでもかなりの未診断COPD患者の拾い上げが期待できます。COPDの疾患管理については、最近開発された長時間作用型吸入抗コリン薬、および吸入ステロイドとLABA(長時間作用型ベータ2刺激薬)の合剤がQOLの改善のみならず、予後の改善も期待できる可能性が示唆されており、早期からの積極的治療の有用性が明らかとなっています。

COPDの薬物療法と並び重要な治療法として呼吸リハビリテーションがあるのですが、当院ではマニュアルのまだ作成されていない平成12年から呼吸リハビリテーションをCOPD疾患管理の中心に取り入れてきました。現在では約50人のCOPD患者に外来呼吸リハビリテーションを継続して実施しているのですが、さらに多くの新規患者が待機している状況で新しい管理システムを考えなくてはならない時期にきています。

その一つとしてCOPD地域連携システムの構築が急がれ、COPD連携パスの作成やCOPD連絡会などの開催を予定しているところです。

もう一つの代表的慢性呼吸器疾患である気管支喘息の長期管理において、最も重要なことは患者教育です。当院の呼吸サポートチームの重要な活動の一つとして、ぜんそく教室を更に発展させた「市民のための呼吸フォーラム—ぜんそくについて一緒に考えてみませんか—」を平成19年度より開催し、患者・家族と医療者間の情報ギャップを埋める努力を試行錯誤しながら続けているところです。

「一緒に考えてみませんか? ぜんそく」……ぜんそくフォーラム

H21.5.23 (土)



肺癌化学療法については、新規抗がん剤による標準治療が確立し、副作用対策が進歩した現在においては、がん専門病院でなくてもしっかりと患者・家族をサポートするチーム医療の確立した環境の方が明らかに良好なQOLを期待できるでしょう。当院呼吸器のチームはまさしくそれを目指すところであります。



【診療体制】

1) 外来診療

呼吸器科医師の新患日は月・水・金となっていますが、それ以外の日でも可及的に紹介対応できる体制としています。

外来呼吸リハビリテーションは教育プログラム(週1日6回コース)から開始して重症度に応じた運動プログラムへ移行します。多職種医療チームによる包括的呼吸リハビリテーションを実施しております。

2) 入院診療

下記に該当する患者さんは呼吸サポートチームの介入対象となり、毎週月曜日にカンファレンスを開催し治療方針を決定しています。

- ①人工呼吸器(IPPV,NPPV,CPAP)を使用している患者。
- ②在宅酸素、在宅人口呼吸(NPPV,CPAP)を導入する患者。
- ③呼吸器症状(呼吸困難、咳、痰など)のために病態が不安定な患者。
- ④慢性呼吸器疾患増悪予防や気管支喘息発作予防などのセルフケア指導を要する患者。

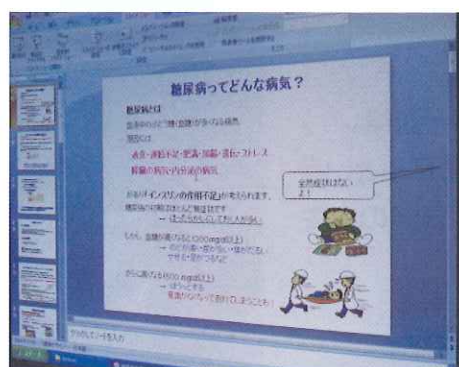


佐藤・氏家看護師

肺癌治療においても入院化学療法から外来化学療法、または積極的治療から緩和治療など、途切れない癌患者ケアを達成するために他職種によるチーム医療を実践しています。

糖尿病外来1日コース

7月から糖尿病外来の1日コースを毎月第4金曜日に別表(スケジュール)のとおり実施しております。ご希望の患者さんがいましたら糖尿病診療情報提供書(病院ホームページでダウンロードできます)を地域医療連携室までFAXにて送付していただければ幸いです。



(別表)

糖尿病外来1日コース

- 8:30 受付
- 8:40 診察(大和一美先生)
- 9:00 採血・採尿
眼底検査
- 10:30 糖尿病教室(医師によるレクチャー)
- 12:00 昼食(昼スタ弁当)
- 13:00 ABI検査
- 13:30 個別栄養指導

※結果については紹介医の先生から説明とさせていただきます。

皮膚・排泄ケア認定看護師

3病棟看護師 菅井 雅子

現在、宮城県内に皮膚・排泄ケア認定看護師は約90人登録されています。各地でスキンケアの技術を基盤に患者さんが持つ精神的・身体的・社会的な問題をアセスメントし『ストーマケア』では排泄管理、栄養管理、ストーマの受容、装具の選択、性機能への援助。『創傷ケア』では局所環境の清浄化とドレッシング、物理的負荷の管理、栄養管理。『失禁ケア』は骨盤内術後の排尿障害への対処、便失禁に対する骨盤底筋の強化、皮膚障害の改善とその予防のためのパウチングなどを行い、より満足できるケアを目指して活動しています。そして、それらのケアが病棟や在宅で継続されるよう実践・指導・コンサルテーションを行なっています。



スキンケア研修

認定看護師としての道を歩み始めたばかりでまだまだ勉強の身ですが、地域の皆さんが笑顔で生活できるよう、皮膚・排泄ケアに関してお手伝い出来ることがあればいつでも声を掛けて下さい。よろしくお願いいたします。

病院学術講演会

H21.5.28 (木)

「魅力ある職場環境づくり フィッシュ哲学の導入」

東京慈恵医科大付属病院

副院長兼看護部長 大 水 美名子 先生

フィッシュとはアメリカの西海岸シアトルの魚市場で生まれた哲学です。当時はパツとしなかった「バイクプレイス魚市場」という所のオーナーと従業員は「世界的に有名な魚市場になろう」と決心し生み出されたのが下記の「4つのフィッシュ哲学」です。この哲学でやりがいのある職場に変身し、今では活気に満ちた魚市場として有名になりました。

- ①仕事を楽しむ…仕事に遊び心を持って楽しく働こう。
- ②人を喜ばせる…人の満足を得るには、まず喜ばせよう。
- ③注意をむける…相手に関心を持ち注意を向けていこう。
- ④態度を選ぶ……辛い仕事もどんな風に仕事をするか自分次第。

ちょっとした気配りで相手を喜ばせることが楽しい職場になるということです。自分の仕事に誇りを持ち仕事を楽しむことで、自分の人生までも豊かにすることができます。

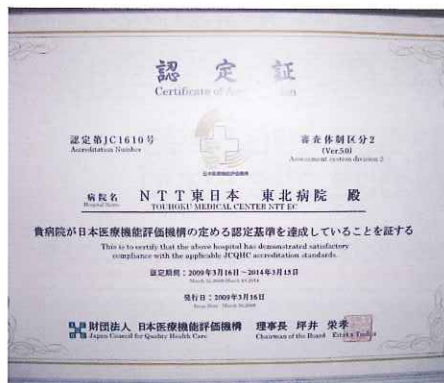
※私達もフィッシュ哲学を取り入れ行動しています。



認定 病院機能評価 (Ver.5)

(H21.3.16)

日本医療機能評価機構による訪問審査が平成20年12月8日(月)から3日間行なわれた。院長のゴーサインの下に、一年半前から関口副院長、塩田副看護部長を中心として病院職員全員が準備、改善に取り組みました。その結果、「非常によくやっている」とサーベイヤーからお褒めの言葉をいただきました。みなさんと更によい病院づくりを推進しましょう。



認定証(認定第JC1610号)



平成21年度キックオフ及び病院機能評価認定祝賀会…
労をねぎらいつつ新たな目標へ

病院理念

人権と生命の尊厳をまもり、心のこもった
温かい良質な医療の提供に努めます。

患者さまの権利

1. 良質で安全な治療を受ける権利があります。
2. 十分な説明と情報開示を得る権利があります。
3. 医療につき自らの意志で選択する権利があります。
4. 患者さまのプライバシーが常に保護、尊重されます。

看護部理念

質の高い看護を提供します。
思いやりのある看護を実践します。

(H21.5.21)

Topics



青空の下を優雅に泳ぐ鯉のぼり:お子さん、患者さんもしばし見とれていました。
(H21.5)



「ドックを受けましょう」:病気は早期発見が大事。ドックの取組み状況を説明する関口副院長(市民講座)
(H21.5.21)



すずめ踊り:昨年に続きNTT東日本グループのみなさんが患者さんに元気を与えてくれました。
(H21.5.27)



納涼ビアパーティ:多数の職員が和やかな雰囲気の中明日への鋭気をやしないました。
(H21.7.10)



第2回地域・病院懇話会:町内会や近隣住民からの要望、病院の取組み状況等活発な意見交換が行われました。(H21.7.15)



和田先生のピアノ、毛取バンド(歯科部長)のリズミカルな演奏に会場から大きな拍子がわき起りました。
(H20.7.29)

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1
NTT東日本東北病院

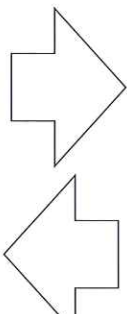
地域医療連携室

TEL 022-236-5899
FAX 022-236-5920

※予約については地域医療連携・相談室で受付けております。
この紹介票をコピーのうえ使用願います。

紹介票(内科新患・検査予約)

(内科以外のご予約についても、この紹介票で申込み下さい)

紹介医 医療機関名 先生 TEL FAX		NTT東日本東北病院 地域医療連携・相談室 TEL 022-236-5899 FAX 022-236-5920 E-mail:ntt_renkei@thk.mhc.east.ntt.co.jp
---	---	---

フリガナ		性 別	生 年 月 日
受診者氏名		男・女	明・大 昭・平 年 月 日
紹介目的	内科新患 検査: MRI CT GTF その他		
現病歴と目的			
申込み検査 当院での検査歴 有 ・ 無			
検査項目 (初回 回目 検査項目: CT. MRI. GTF)			

1. 特記(消化器外来希望など) _____

2. 診療希望日

☐ 第一希望 月 日 (午前・午後)

第二希望 月 日 (午前・午後)

☐ 当病院指定

不都合な日時(曜日など) _____

お返事
月 日 時 分
注意事項等

※ 当日は朝食止めにておいで下さい